

平成 1 9 年 度

公立大学法人 業務実績評価書

平成 2 0 年 8 月

福岡県公立大学法人評価委員会

目 次

年度評価の考え方	-----	1 ページ
各法人の評価		
1 公立大学法人九州歯科大学		
(1) 全体評価	-----	2 ページ
(2) 項目別評価	-----	3 ページ
2 公立大学法人福岡女子大学		
(1) 全体評価	-----	8 ページ
(2) 項目別評価	-----	9 ページ
3 公立大学法人福岡県立大学		
(1) 全体評価	-----	14 ページ
(2) 項目別評価	-----	15 ページ

年度評価の考え方

1 項目別評価（中期目標項目別評価）

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書等を基に、業務の実績等について調査・分析を行う。

これらの調査・分析を踏まえ、中期目標の項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）ごとに、中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階で評価する。

- 5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
- 3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
- 2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
- 1：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況全体を総合的に評価する。評価は、業務の実施状況、財務状況、法人のマネジメントの観点から、記述式で行う。

組織や業務運営等に係る改善すべき事項があれば記載する。

※ 評価委員会の評価は、各法人が中期計画において設定した業務実施の計画や達成目標等を踏まえて行なったものであり、法人間の相対評価をしめすものではない。

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人九州歯科大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、先端的な歯科医療の知識・技術を教授するとともに、高齢者の治療や健康管理指導ができる能力、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付けた優秀な歯科医師を育成することを最も重要な使命としている。

法人化2年目である平成19年度の評価にあたっては、当該年度の業務実績の評価を行うとともに、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認し、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」又は「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、前年度の評価において進捗の遅れを指摘した社会貢献及び情報公開に係る事項については、指摘を踏まえて改善に取り組んでいることを確認した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成19年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展など、歯科保健医療を取り巻く環境が変化する中、県の設置する大学としての役割を踏まえ、社会のニーズに的確に対応し、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、おおむね順調に進捗している。

平成19年4月の新学部棟の完成により教育研究環境の改善が図られ、カリキュラムの充実・改善や学内情報システムを活用した学生支援などに積極的に取り組んでいる。

なお、九州歯科大学は、福岡県が設立した公立大学であり、県民に対してその存在意義を示すことが必要である。県内の優秀な学生の確保、地域に対する医療活動等への積極的な取組などに努められたい。

3 財務状況

財務の状況については、附属病院経営改善の取組において、一部計画の遅れが認められるものの、全体としては、おおむね順調に進捗している。

附属病院については、地域住民のニーズの把握、医療材料費の増加の抑制等に積極的に取り組み、経営改善に繋げていくことが必要である。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と、戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。特に、支出の大部分を占める人件費については、教育研究の質の向上に配慮しつつ、節減への努力を続けられたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

法人化2年目となり、各種事業への取組も本格的となる中で、理事長のもと、年度計画の進捗管理、評価の実施、大学運営に必要な情報の収集・分析等、法人全体の運営戦略を担う法人の中核としての事務局の役割が重要となってきた。少人数体制での困難性もあろうが、体制整備により一層努められたい。

また、情報公開について、ホームページの画面構成や掲載情報を工夫し、利用者に必要な最新の情報を分かりやすく提供できるよう取り組まれたい。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評 価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
-----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 地域の発展に貢献する歯科医師の育成

- ・北九州地区4大学（北九州市立大学、九州工業大学、産業医科大学、九州歯科大学）間で教員の相互派遣を行うことにより、人文・社会科学系の選択科目を増やし、素養教育の大幅な再編を行っている。
- ・国家試験合格率向上のためには、入学試験結果、共用試験結果、国家試験結果の相関の分析だけでなく、通常授業の成績評価との相関の分析が必要であり、今後の取組を期待する。

(2) 適性のある優秀な人材の確保・育成

- ・福岡県が設立する大学として、県内の優秀な学生を獲得する努力が必要である。また、広報戦略、入試戦略の構築にあたっては、情報の収集と分析が不可欠であり、オープンキャンパス参加者・受験者・入学者の相関関係の分析、オープンキャンパス参加者に対するアフターケアなど、今後の取組を期待する。

(3) 教育の質の改善

- ・FD活動（※）への教員参加率が低く、積極的な取組が必要である。

※ FD（ファカルティ・ディベロップメント）
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。

(4) 学生への支援

- ・学生に対する学習相談、教育・教務関係の情報提供、臨床研修後の就職支援体制の構築に努めている。

2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と

評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・研究実績の評価・検証を行うなど、研究推進に取り組んでいる。論文数及び学会発表数についても増加しており、取組の成果として評価する。

3 社会貢献

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・地域の基幹的病院としての役割を果たすため、北九州・筑豊地区の歯科診療所への病診連携（病院と診療所が連携して症状に応じた医療を提供すること）に関するパンフレットの配布等を実施した結果、診療所からの紹介率が向上している。
- ・発展途上国（ネパール、チュニジア）へ教員を派遣し、歯科医療技術援助を行うなど、国際的な歯科保健医療の向上に貢献している。
- ・社会貢献活動を総括する組織として、理事長を委員長とする社会貢献委員会を発足し、委員会のもと地域貢献、産学連携、自治体連携、国際協力、病診連携の各行動推進室を設置している。

4 業務運営

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と

評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・学長競争枠研究費の増額など全学的視野からの予算配分、役員や事務局長と職員との意見交換、任期制実施、教員個人業績評価の実施・改善等、運営体制の改善と人事の適正化に努めている。
- ・実習で起こりうる学生の事故防止策の事例集作成、附属病院におけるヒヤリハット事例の職員への周知徹底等、安全管理体制の充実に努めている。

5 財務

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・患者紹介率の向上による診療報酬の確保、健診業務（人間ドック、歯科健診）の受託件数増加による収入増、外部研究資金や特許実施料の収入増など、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・附属病院の摂食機能リハビリテーション科の人的体制を整備し（担当教員1名増員）、治療を積極的に行った結果、18年度に比べ約60%の収入増加の実績をあげている。
- ・患者ニーズの把握のために実施を予定していた地域住民との懇談会の進捗が遅れている。
- ・医療材料費の削減がなされておらず、原因の分析と改善への取組が必要である。

6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 個人業績評価の実施と改善に努めている。
- ・ 自己点検・評価は、今後の改善に繋げていく上で非常に重要なものであるため、評価する点、課題とする点を明確にし、よりの確な評価の実施に努められたい。

7 情報公開

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 広報委員会の設置、情報公開に関するガイドライン等の作成等、情報公開の推進に努めている。

公立大学法人福岡女子大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡女子大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、職場、家庭、地域など社会の様々な分野において重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成することを最も重要な使命としている。

法人化2年目である平成19年度の評価にあたっては、当該年度の業務実績の評価を行うとともに、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認し、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」又は「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、前年度の評価において進捗の遅れを指摘した教育及び社会貢献に係る事項については、一部、十分な進捗が図られていない項目も見受けられたが、改善に取り組みおおむね成果を上げている。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡女子大学の平成19年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

福岡女子大学については、今後、学部学科を含めた抜本的な改革に取り組むこととされている。大学を取り巻く社会環境が一層厳しさを増していくことが予想される中、将来にわたって県民の期待に応えられる大学として発展できるよう、実効性の高い改革の検討を進められることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、おおむね順調に進捗している。

教育について、キャリア教育プログラムが文部科学省の平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択されており、福岡女子大学が目標として掲げる女性人材の育成のための特に優れた取組として評価する。

なお、教育、研究、社会貢献全体について、事業の目的や、目的達成のための方策、事業で得られた成果の活用方法などが明確でないものが認められることから、今後、事業計画の作成にあたっては、十分な検討を図られたい。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と、戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。特に、支出の大部分を占める人件費については、教育研究の質の向上に配慮しつつ、節減への努力を続けられたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、おおむね順調に進捗している。

法人化2年目となり、各種事業への取組も本格的となる中で、理事長のもと、年度計画の進捗管理、評価の実施、大学運営に必要な情報の収集・分析等、法人全体の運営戦略を担う法人の中核としての事務局の役割が重要となってきた。少人数体制での困難性もあろうが、体制整備により一層努められたい。

また、情報公開について、ホームページの画面構成や掲載情報を工夫し、利用者に必要な最新の情報を分かりやすく提供できるよう取り組まれたい。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、現代的教育ニーズ取組支援プログラムへの採択を評価し、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育

- ・職業キャリア導入教育を含むキャリア教育プログラムが文部科学省の平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現

代G P)」に採択されており、教育内容の改善に積極的に取り組んでいる。

(2) 専門教育

- ・人間環境学部において、管理栄養士国家試験対策の充実を図り、18年度全国平均以下（女子大61.8%、全国81.8%）であった合格率を大幅に向上させている。（19年度：女子大93.5%、全国80.6%）

(3) 大学院教育

- ・学生の修学状況に対応した柔軟な時間割の作成（文学研究科）、研究科共通科目の内容の充実（人間環境学研究科）等、大学院教育の充実に努めている。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・他の教員も使用できる教材として、授業方法支援アイデア集を作成しているが、作成目的や活用方法が不明確であり、改善が必要である。

(5) 優秀な学生の確保

- ・入試制度見直しの検討の進捗が遅れている。
- ・志願者数、受験者数が数値目標を下回っており、入試広報の工夫・改善が必要である。
- ・社会人入学者への対応について、履修年限の弾力化の取組が遅れている。

(6) 成績評価

- ・G P A制度（※）の導入の準備、成績評価基準のシラバスへの明記等、学生の質の向上に努めている。

※ G P A制度（G P A＝グレード・ポイント・アベレージ）

授業科目ごとの成績評価を5段階（A,B,C,D,E）で評価し、それぞれに対して、4,3,2,1,0のグレード・ポイントを付与し、この単位あたり平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度。

(7) 学習及び就職支援体制の整備

- ・ 補習授業の実施、キャリア支援センターを中心とした就職活動支援、教職員による企業訪問等、学生に対する支援に努めている。

(8) 大学改革の推進

- ・ 学内で改革案を検討、作成している。

2 研究

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 産学官地域連携センターが中心となり、電子メールによる外部研究資金の情報提供、科学研究費補助金申請の学内説明会など、研究支援を実施している。外部研究費獲得件数についても増加しており、取組の成果として評価する。
- ・ 産学官コンソーシアムの創設準備が遅れている。

3 社会貢献

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進捗している。
----	------------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、中期計画外の取組である食育支援事業を評価し、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・土曜公開講座、春季・秋季公開講座等、公開講座の開催回数と内容の充実に取り組んでいる。
- ・食育支援プロジェクトを立ち上げ、教員と学生が地域と連携して食育活動に取り組んでいる。
- ・国際交流センターの広報強化の取組を具体的に進めることが必要である。

4 業務運営

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・専属の嘱託職員の配置によるセンター（女性生涯学習研究センター、産学官地域連携センター、国際交流センター、キャリア支援センター、情報センター）機能の強化、任期制実施、教員個人業績評価の実施・改善等、運営体制の改善と人事の適正化に努めている。
- ・安全衛生年間管理計画の策定、防犯体制の点検・改善等、安全管理体制の充実に努めている。

5 財務

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・産学官地域連携センターが中心となって外部研究資金獲得に取り組み、数値目標を上回る収入実績をあげている。

- ・宅急便やメール便の利用により通信費削減に積極的に取り組み、数値目標を上回る実績をあげている。

6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。

7 情報公開

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。
評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・情報センターの設置、個人情報保護に関する講習会の実施等、情報公開の推進に取り組んでいるが、内容の充実に努められたい。

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡県立大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質をもった優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

法人化2年目である平成19年度の評価にあたっては、当該年度の業務実績の評価を行うとともに、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認し、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」又は「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成19年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、県が設置する大学としての役割を踏まえ、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、おおむね順調に進捗している。

福岡県立大学は、設立当初から地域振興の役割も担っており、地域への貢献は重要課題である。19年度においては、各種の健康教室や資格・免許保持者へのリカレント教育などについて、目標を大幅に上回る実績をあげている。また、9月に開設した不登校・ひきこもりサポートセンターでは、相談事業をはじめ各種事業に取り組んでおり、大学の知的資源を活用した社会貢献策として高く評価する。

今後とも、両学部の連携のもと、福岡県立大学の特色づくりの一層の推進を図られたい。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と、戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。特に、支出の大部分を占める人件費については、教育研究の質の向上に配慮しつつ、節減への努力を続けられたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、おおむね順調に進捗している。

法人化2年目となり、各種事業への取組も本格的となる中で、理事長のもと、年度計画の進捗管理、評価の実施、大学運営に必要な情報の収集・分析等、法人全体の運営戦略を担う法人の中核としての事務局の役割が重要となってきた。少人数体制での困難性もあろうが、体制整備により一層努められたい。

また、情報公開について、ホームページの画面構成や掲載情報を工夫し、利用者に必要な最新の情報を分かりやすく提供できるよう取り組まれたい。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・教養演習のテキスト改訂にあたって、学生編集委員会を設置し、学生の視点を取り入れた新テキストを作成するといった工夫・

改善を行っている。

(2) 専門教育の充実

- ・看護学部において、実習施設新規開拓、教員と実習先指導者との連携強化、臨床教授制度（※）の導入など、実習教育の充実に積極的に取り組んでいる。
- ・人間社会学部人間形成学科において、20年度からの実施に向けて体験的学習の手法を導入した授業科目を37科目試行するなど、カリキュラムの改善に積極的に取り組んでいる。
- ・両学部の学生が福祉と看護の連携について共に学習する教育プログラムの導入に向けた準備が遅れている。福岡県立大学の専門教育の特色となる部分であり、取組への努力が必要である。

※ 臨床教授制度

臨床教育に協力する学外の医療機関等の優れた看護職者に対し、「福岡県立大学看護学部臨床教授等の称号付与規程」に基づき「臨床教授」の称号を付与し、臨床教育の指導体制の充実に努めることを目的とする制度。

(3) 教員の教育能力の向上

- ・学生の授業活動評価や教員の個人業績評価の実施と改善、FD活動（※）の強化等に努めている。

※ FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。

(4) 学生の確保

- ・オープンキャンパス、入試説明会、高校訪問、出前講義等の入試広報活動について、数値目標を上回って積極的に実施している。

(5) 成績評価

- ・看護師及び保健師の国家試験合格率が低下しており、原因分析と早急な対策が必要である。

(6) 学生への支援

- ・ インターンシップ参加者拡大や就職ガイダンス、国家試験対策講座等のメニューの充実に積極的に取り組んでいる。
- ・ 卒業後のキャリアアップの機会を提供するための事業として、海外（韓国）の大学と共催でシンポジウムを開催するなど、卒業生への支援に取り組んでいる。
- ・ 就職後の追跡調査事業については、18年度実施分の回収率が低く、調査の手法や調査結果の活用等の工夫・改善が必要である。

2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 附属研究所において、2つの研究センター（生涯福祉研究センター（人間社会学部）、ヘルスプロモーション実践研究センター（看護学部））の独自の研究プロジェクトや両学部連携による共同研究プロジェクトに積極的に取り組み、数値目標を上回る実績をあげている。特に、ヘルスプロモーション実践研究センターにおいて20件の文部科学省科学研究費補助金を獲得していることを高く評価する。

3 社会貢献

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・大学の知的資源を活用し、地域住民の健康の向上のための各種健康教育事業、資格・免許保持者等に対するシンポジウム、勉強会、ワークショップ等に積極的に取り組んでいることを高く評価する。
- ・9月に附属研究所に不登校・ひきこもりサポートセンターを開設し、半年間で770件の相談に対応するとともに、学生による県大子どもサポーターを小・中学校等27校に派遣するなど、積極的に取り組んでいる。
- ・地域支援のため、若年者就職定着のための施策検討事業や福祉用具研究会など、各種の研究会や交流会等に取り組んでいる。
- ・英語版の大学ウェブサイト充実への取組が遅れている。

4 業務運営

評 価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
-----	-----------------------------------

平成19年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・学長諮問の全学カリキュラム検討委員会を設置し、カリキュラムの見直しなどに取り組んでいる。
- ・全教職員を対象とした大学改革セミナーを年間4回開催し、教職員の意識改革に積極的に取り組んでいる。
- ・「クリーンUPデー」として、教職員・学生・住民の参加によるキャンパス整備活動を実施している。
- ・特任教授制度（他大学退官教員任用）を創設し、多様化する教育ニーズへの対応に取り組んでいる。
- ・看護学部の教育研究の見直しに向けた検討が遅れている。

5 財務

評 価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
-----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・リカレント教育やキャリアアップ教育等の課外講座の料金収入として、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・宅配業者のメール便やIP電話の利用により通信費削減に積極的に取り組み、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・余裕資金の運用に努め、762千円の運用益をあげている。

6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。

7 情報公開

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成19年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ ホームページ内容の改善、ホームページ管理に関する運用要綱等の検討等、情報公開の推進に努めている。